

4月・平澤からの訪問

平成30年4月12日(木)から15日(日)まで、平澤国際交流協会の会員14名が松山を訪れました。今回は、観光とバドミントン交流をしようということでした。初日、友好協会の会員が法被を着てお迎えをしました。平澤の方々は疲れた素振りもなく明るく元気いっぱいでした。



〈道後温泉本館前にて〉

二日目、午前中は石手寺から道後温泉商店街まで楽しく散歩をしました。天気がとても良く、喉が渇いた時、平澤の方がみんなに飲料水を買ってくださり感動しました。「大黒屋うどん」でお昼ご飯を食べ、午後は松山城へ上がりました。天守閣へ上がり、風景を楽しみました。夜には、平澤国際交流会の皆さんと松山市の関係者や当友好協会の会員達と食事会がありました。5テーブルに分かれて、食事をしながらたくさん話をしました。韓国から持って来られたキムチやのりをおみやげにいただきました。



〈バドミントンで交流〉

三日目の夜は、バドミントンをしました。最初は8名の方がする予定でしたが、当日は14名全員が来られ、元気に応援をしていました。最初はお互いに緊張していましたが、スポーツ交流を通して、言葉が通じなくても何の問題もなく充実した時を過ごしました。参加した松山のバドミントングループの人たちも、思いがけない国際交流ができたこと、とても嬉しそう、韓国から持って来られたお土産をいただき喜んでいました。

最後の日、空港までお見送りに行きました。3泊4日と短い時間でしたが、コインジョン会長をはじめ会員の皆さんのあたたかい心を感じることができた意義深い交流になりました。次は是非平澤で交流ができればいいと思います。

(運営部:K. N.)



〈松山空港でのお出迎え〉



〈石手寺にて〉



〈松山空港でのお見送り〉

交流会マダン

平成30年12月9日(日)コムズ調理室において、参加者35名(一般参加者29名、韓国留学生5名、ハングル講座で講師をして頂いた張英淑(チャン・ヨンスク先生)と韓国料理を作って食べました。

タッカルビ、チャプチェ、キムチとニラのチヂミ、キムパ、干し鰯のスープの5種類を、料理別の班に分かれて作りました。1時間ほどで出来上がった料理をみんなで和気あいあいと味わいました。キムパ作りではチャン先生が素晴らしい腕前を披露して下さり作り方を教えてくださいました。

後半には、じゃんけんゲームを行い大いに盛り上がりました。

今回のマダンでは、韓国の食文化を通して韓国料理に興味のある方、韓国に興味のある方々が親睦を深め楽しみました。

(運営部:S. O.)



〈美味しそうな韓国料理の数々〉

〈調理中の様子〉

ハングル講座

●前期ハングル講座

開催日:平成30年6月24日(日)、7月22日(日)、8月5日(日)
受講者数:27名

●後期ハングル講座

開催日:平成30年10月28日(日)、11月11日(日)、11月25日(日)
受講者数:20名

前期3回、後期3回、1回につき3時間行われるハングル講座ですが、今年度は毎回3時間を、勉強・ミニイベント・フリートークの三部構成で行ってみました。

前半の勉強は絵本を使って、講師の張英淑(チャン・ヨンスク)先生に教えていただきました。日本と韓国との擬音の違いに驚いたり笑ったり興味深かったです。ミニイベントでは、絵本に出て来るホットクを作って食べたり、平澤クイズをしたり、ユンノリ大会をしたり、思いのほか大変盛り上がり、楽しい交流のひと時になりました。

留学生とのフリートークは普段できない貴重な体験の時間です。互いの文化の違いや共通点を見つけられるのも直接話す醍醐味です。毎回終了時間を忘れてしまう程楽しかったです。受講生の皆さんの要望をどう生かすか、毎回手探りですが、語学を通じて両国の小さな交流の場になっていると実感しました。

(運営部:C. T.)



〈前期〉



〈後期〉

参加した会員の感想

今回は絵本「タピンちゃんのホットク」を教材にして勉強しました。文法や日本語訳だけでなく、絵本に出てくる韓国の焼き菓子「ホットク」を実際に作るワクワクする講座でした。私はホットクを食べたことがなく、失敗しないように恐る恐る焼いていた時、留学生が「大丈夫、上手ですよ。」とってくれました。(安心して食べることが出来ました)

友好都市である平澤市の特産物や産業について二者択一クイズをしました。面白いクイズだったので、みんな熱中し過ぎてホームページ用写真を撮り忘れたと聞きました。本当に楽しく学べました。韓国からの優しい留学生たちとの交流もとても良かったです。

最後に、ホットク材料の準備、クイズ作成などたくさんの方々に感謝の気持ちを表したいです。ありがとうございます。(運営部:T. E.)



〈ホットクの試食〉

留学生の感想

「今年最後のハングル講座に参加することができうれしかった。」と、最初に言いたいと思います。松山市にこのようないろいろな年代の市民が日本と韓国の交流に興味を持ち、韓国語を勉強しようと一生懸命にされていることを知りませんでした。そして、「ありがとうございます。」と伝えたいです。これからも会って、交流を続けたい気持ちは山々ですが、時間がいつの間にか流れ、帰国するしかなく、寂しさを禁じ得ません。このような良い機会を次の留学生へも伝え、良い時間を継続することができればと思います。ありがとうございました。またお会いしたいです。(カン・ヒョンミン)



〈韓国の伝統的なお正月の遊び「ユンノリ」の決勝戦〉

松山市在住の韓国からの留学生の声

平成31年1月12日(土)、留学生とランチ交流を行いました。

【留学生の感想】

- 寮の電気代、水道代が高かった。
- 友達もすぐできてとても楽しかった。
- 物価がちょっと高いと感じた。
- 「住みやすい」と聞いて来たが、最初は「住みやすい」ということがどういうことがわからなかった。でも暮らしているうちに「住みやすさ」が、「あまり気を張らずにとっても気が楽に暮らせる」ということなのだとなった。
- また遊びに来たい。
- あまり困ったこともなく過ごせた。



〈ランチ交流〉